

# 農業に竹活用

里山保全に取り組みきららかネットワーク（山本匡躬代表）は17日、射水市青井谷西谷（小杉）のきららかの里西谷で教育・研修会を開き、竹酢液などの農業への活用について学んだ。

コマツナの栽培・研究を手掛ける坂口いずみさん（高岡市）が「竹ヨーグルト・竹酢液の農業への適用」をテーマに講演。コマツナ栽培に向けた土壌改良材として竹ヨーグルトを、防除用に竹酢液を使い、安全なコマツナを栽培できることを紹介した。

参加者は、近くの里山で竹の伐採や竹炭の製造作業などを体験。竹炭を使ったバーベキューも行い、交流を深めた。

## コマツナ栽培事例紹介



コマツナ栽培に向けた竹酢液や竹ヨーグルトの使用例を説明する坂口さん（奥）

# 豊かな里山いつまでも

## コナラの伐採見学



コナラの伐採を見学する参加者

## まき作り体験も

豊かな里山を守ろうと活動する射水市小杉地域の金山里山の会（前川修会長）は17日、同市青井谷（小杉）の山林で、間伐材の切り出しやまき作りを行った。

同会に助成金を贈っているOTTOの社員に参加を呼び掛けて実施。同社社員のほか、同会のメンバーらが参加した。

参加者は、里山でコナラの伐採を見学し、機械を使ってまき作りを体験した。枝を細かく砕いたチップを林道に敷き詰め、活動しやすい環境を整えた。

夕方には浄土寺公民館で交流会を開催。近くの河川でホタルを観賞した。